

# 指導協つうしん



## 主な活動状況

### ●講習会の実施

【令和7年度仙台中級パラスポーツ指導員養成講習会 令和7年10月～12月(計8日間)】

中級パラスポーツ指導者養成講習会が10月11日から12月21日にかけて行われました。計8日間の講習は、ほとんどが午前9時30分から午後6時過ぎまでの時程でした。受講形式は、実技・講話・演習と多岐にわたりました。ある受講生は「今までの点としての活動が、線としてつながり、新たな視点で活動を見直すとても良い機会となりました」と語っていました。



【令和7年度仙台市初級パラスポーツ指導員養成講習会 令和8年2月11・14・15日(計3日間)】

初級パラスポーツ指導者養成講習会が2月11・14・15日の3日間で行われました。29名の受講者が実技・講話・演習と多岐にわたる講習に真剣な眼差しで参加しました。受講生に受講理由を聞いたところ「この資格を得て、障害のある方々のスポーツをするということに関わっていきたいから」と話していました。



●**審判講習会（仙台市長杯ボッチャ大会）** 1月11日(日) 会場:若林区中央市民センター別棟

第4回目を迎えた「仙台市長杯ボッチャ大会」。審判として携わる指導員の皆さんを対象に審判講習会が行われました。コート設営に関して、4つのコートの位置関係などを確認しました。その後、審判長を務める佐藤望さんから今大会に適用するルール(全国障害者スポーツ大会 ボッチャ版)について詳しく説明がありました。説明の後には、様々な疑問を出し合いケーススタディとして理解を深めました。最後には、主審、線審、タイマーの役割を実践してその感覚を養いました。



●**障害者スポーツ何でも相談（ボッチャ）** 1月14日(水) 会場:柳生小学校

4年生の「総合的な学習の時間」の障害者スポーツを体験しようという学習の一環で行われました。この日は、1つのスローイングボックスで対戦しました。子供たちはボックス内を自由に行き来してボッチャを楽しんでいました。指導員の皆さんは、会場の設営や審判の役割を担当しました。

柳生小



(シッティングバレー) 1月15日(木) 会場:向山小学校

4年生2クラス61名の児童が参加。座位状態で移動リレーをしてからチーム毎に輪になってパス練習をしました。その後2コートで3チームでの総当たり戦のミニゲームを実施。ミニゲームでは床の冷たさを忘れるような熱気を帯びた試合もありました。指導員の皆さんは、会場の設営や審判の役割を担当しました。

向山小



●**障害者スポーツ教室（スキー）** 2月8日(日) 会場:スプリングバレー泉仙台スキー場

2名の方が参加。指導員の皆さんは、スキー靴の脱着などを支援しました。スキー協会の方は、スキーでの移動、滑り方や止まり方、リフトの乗降の仕方などを参加した皆さんに寄り添って丁寧に指導していました。天候にも恵まれ参加した方の笑顔があふれるスポーツ教室となりました。



◇広報誌は仙台市障害者スポーツ協会 HP(<https://www.sendai-dsa.jp/>)の「指導者協議会」のページで公開しております。